

2 平成 23 年度の主な実績



平成 23 年度の主な実績と成果のふりかえりを、施策方針に沿ってまとめます。

(1) 樹林地を守る

ア 確実な担保

<平成 23 年度の主な実績>

「緑の 10 大拠点」のようなまとまった規模の緑や、市街地に残る斜面緑地などの貴重な緑を保全するため、多くの土地所有者の方々の理解と協力を得ながら、特別緑地保全地区・市民の森・緑地保存地区などの地区指定を積極的に進め、平成 22 年度と同等の面積を新規指定することができました。

また、特別緑地保全地区の指定地等で土地所有者の不測の事態による買取りの希望等に、着実に対応しました。



緑地保全制度による新規指定等…104.6ha



不測の事態による買取り希望等への対応…34.0ha



①緑地保全制度指定により保全している樹林地の事例（栄区／公田近郊緑地特別保全地区）

②買取りにより保全した樹林地の事例（旭区／川井特別緑地保全地区）

<平成 23 年度の成果とふりかえり>

○ダイレクトメール等による制度の PR や、直接交渉などの働きかけを積極的に行うことで、100ha を超える樹林地を新たに保全することができました。

○平成 23 年度の指定目標には達していないため、継続的かつ効率的な働きかけを進める必要があります。

イ 維持管理推進

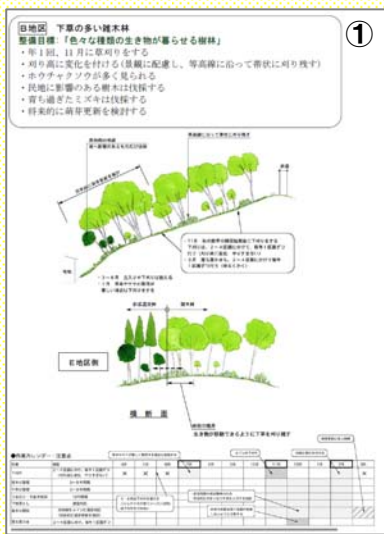
＜平成 23 年度の主な実績＞

市民の森等の公開型樹林地では、その樹林地の将来像や維持管理の考え方を定める「保安全管理計画」を市民協働により策定し、多様な動植物が生息する健全な森とするため、間伐や下草刈りなどの管理を進めました。

緑地保存地区等の私有樹林地に対しては、住宅地との境界部等における草刈作業や危険樹木撤去に対する助成制度の周知を積極的に行い、多くの所有者の方に活用していただきました。

また、森づくり活動を行っている団体に対して、積極的な森づくり活動を支援するための助成や、道具の貸出などを行い、多くの団体に利用されました。

- ① 保安全管理計画を策定した市民の森等…3箇所
- ② 緑地保全制度に指定している私有地樹林地の維持管理の助成…83件
- ③ 愛護会や森づくりボランティアへの活動支援…延べ70団体



- ①保安全管理計画の策定事例
(旭区/南本宿市民の森)
- ②保安全管理計画の策定事例
(保安全管理計画検討会の様子、泉区/中田ふれあいの樹林)
- ③樹林地管理団体への支援の事例(救命救急講習会)

＜平成 23 年度の成果とふりかえり＞

- 保安全管理計画の策定が進み、樹林地の特性に応じた保安全管理のあり方について、活動する市民団体の方々と共通の認識を得ることができました。
- 緑地保全制度に指定している私有樹林地の維持管理に対する助成については、前年度より多くの助成ができたことで、所有者の管理の負担感を軽減することができました。
- 森づくり活動団体への支援の工夫を行うことで、利用団体が増加し、活動が活発になりました。

ウ 利活用促進

＜平成23年度の主な実績＞

樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PRするため、楽しみながら樹林地の現状を知ることによって保全活動に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型講座を実施しました。

また、樹林地の維持管理で生じた間伐材の活用を図るため、森づくり団体に対して、間伐材のチップ化作業の支援を行いました。

- 🌿 森への関心を高める講座…83回（参加者 6,528人）
- 🌿 森の収穫物を楽しむ体験型イベント…16回（参加者 2,651人）
- 🌿 森づくり団体への間伐材チップ化作業支援…45回




- ① 森への関心を高める講座の事例
（「よこはま森の楽校 竹の伐採と竹細工」、都筑区／東京都市大学）
- ② 森の収穫物を楽しむ体験型イベントの事例
（「色の散歩」森の恵みの標本づくり、西区／横浜美術館）
- ③ 森づくり団体への間伐材チップ化作業支援の事例（チップを園路に敷きつめた様子、旭区／南本宿市民の森）

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

○様々な団体や施設と連携しながら事業を実施したことで、多くの参加者を得ることができ、樹林地の魅力などについて広く啓発・PRすることができました。

○間伐材のチップ化支援の実績も増え、放置された間伐材が活用されることで、樹林の環境改善につながりました。今後、さらに需要の掘り起こしをすることが必要です。



(2) 農地を守る 

ア 農業振興

<平成 23 年度の主な実績>

市民の皆さまが身近なところで地産地消を実感できるよう、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを体験することができる果樹園や農園の整備に対し、支援を行いました。

また、農家と市民・企業、様々な人や団体が連携した新たな地産地消の取組として、「食と農の祭典」をはじめとする様々な取組を展開しました。

-  収穫体験農園の整備に対する助成…7.1ha（32 箇所）
-  様々な団体、企業等が連携した、新たな地産地消の取組…6 件



- ①収穫体験農園の整備に対する助成の事例（イチゴの高設栽培装置、都筑区）
- ②様々な団体、企業等が連携した新たな地産地消の取組の事例（食と農の祭典 2011）
- ③様々な団体、企業等が連携した新たな地産地消の取組の事例（ガイドブック「食べる、横浜」）



<平成 23 年度の成果とふりかえり>

- 収穫体験ができる農園の整備は、目標を上回る支援を行い、市民の皆さまが果物のもぎ取りや野菜の収穫ができる場を増やすことができました。
- 食と農の祭典などの実施を通じて、企業や市民団体との連携が進み、地産地消の取組が拡大しました。

イ 農地保全

＜平成23年度の主な実績＞

農地の適切な管理と景観の保全を図るため、地域の農地を管理している団体に支援を行いました。団体が行っている道水路などの清掃活動や法面等を利用した景観植物の植栽・管理などに支援を行いました。

水田を保全するため、水稲耕作を10年間継続することを条件に支援を行っており、平成23年度も追加で承認を行うとともに、水稲作付けが確認された水田に対して保全奨励金を交付しました。

また、都市の中での農業を安定的に継続できるように、不法投棄が多発している農業専用地区などで対策を行うとともに、臭気や農薬飛散など、周辺住民とのトラブルを避けるために必要な設備等の導入を支援しました。

- 地域の農地の管理を行う農業者団体に対する支援
…622.6ha（48団体）
- 水田保全承認面積…109.7ha（うち新規承認10.0ha）
- 農地への不法投棄対策…延べ60地区
- 農薬飛散防止ネットの設置…6.3ha（43件）



- | | |
|---|---|
| <p>①地域の農地の管理を行う農業者団体に対する支援（農業者団体による水路清掃、金沢区）</p> <p>②水田保全契約により保全された水田の事例（瀬谷区）</p> | <p>③農地への不法投棄対策の事例（不法投棄監視警報装置、都筑区）</p> <p>④農薬飛散防止ネットの設置事例（戸塚区）</p> |
|---|---|

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

○農地の管理団体の支援については、支援団体数が増えるとともに、活動内容の幅が広がり、地域全体で農地を良好に維持管理する意識が高まりました。

○また、水田の保全がさらに進んだことで、良好な景観や都市環境の保全が進みました。5か年の目標に向けて、一層の事業推進に取り組む必要があります。

○不法投棄対策や農薬飛散防止ネットの設置などを積極的に進めたことで、都市の中での営農環境の向上を図ることができました。今後も、さらに制度が活用されるよう取り組む必要があります。

ウ 担い手育成・確実な担保・継続保有の促進

＜平成23年度の主な実績＞

認定農業者などの経営改善に必要な機械・施設の導入等に対して、目標を上回る支援を行いました。

市が仲介した農地の貸付を長期間になるよう誘導し、目標を上回る実績となりました。また、優良な農地を市が借り入れ、新規参入者や規模拡大農家に貸し付ける事業を開始し、農地の流動化を促進しました。

農地や里山景観を保全し、市民の農体験の機会を増やす農園付公園について、土地所有者の方々との調整を進めるとともに、施設整備に向けた設計を進めました。

- 経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援…52件
- 6年以上の長期貸付を開始した農地…18.8ha
- 新規の農地貸借…15.6ha
- 農園付公園の基本設計…3箇所



- ① 経営改善に必要な農業機械導入等に対する支援の事例（バックホー）
- ② 新規の農地貸借の事例
- ③ 農園付公園の整備イメージ

＜平成23年度の成果とふりかえり＞

- 目標を大幅に上回る経営改善の支援を行うことで、市内産農産物の生産供給に寄与することができました。
- 農地の貸借が進み、遊休農地が耕作されることで、営農環境が向上するとともに、新たな担い手への貸付が進みました。
- 農園付公園の用地取得や設計が進みましたが、整備を行い、供用開始できるよう、事業をさらに進める必要があります。

(3) 緑をつくる





ア 緑化推進

<平成23年度の主な実績>

地域の皆さまと横浜市が協力して、地域にふさわしい緑化計画をつくり、民有地と公共施設の緑化を進める「地域緑のまちづくり」の取組を、地域の皆さまと街歩きや緑化の試行実験などを行いながら進め、平成21年度から取り組んでいる地区で、緑化等の実施に向けた協定を締結し、緑化整備を実施しました。

また、子どもたちがのびのびと遊べる緑の環境をつくり出すために、民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に対して助成を行うとともに、公立の保育園や小中学校の園庭・校庭の一部芝生化を実施しました。

民有地緑化の推進については、沿道での花壇整備や屋上緑化など、さまざまな助成を進めました。

-  地域ぐるみで策定した緑化計画に基づき、緑化整備を実施した地区…6地区
-  保育園・幼稚園の園庭、小中学校の校庭の芝生化…27箇所
-  花壇整備等に対する助成…3箇所
-  屋上・壁面緑化に対する助成…9件



①地域緑化計画に基づく民有地緑化の事例（戸塚区／名瀬たかの台地区）
②園庭芝生化の事例（旭区／左近山保育園） ③屋上緑化に対する助成の事例（西区）

<平成23年度の成果とふりかえり>

- 地域の皆さまの積極的な取組により地域緑化計画の策定が進み、緑化の実施に着手できるようになったことで、地域での緑のまちづくりが新たな段階に入りました。
- 保育園や小中学校など、市民の皆さまに身近な施設での緑化が進み、身近に触れることのできる緑を増やすことができました。この取組がさらに広がるよう、施設管理者の芝生管理技術の習得などの取組を進める必要があります。
- 民有地緑化では、より多くの市民の皆さまに助成制度を活用していただけるよう、工夫する必要があります。